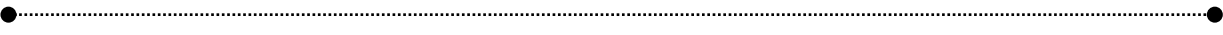


令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「知のネットワーク」を活用した移住定住促進プロモーション事業
事業主体 (連絡先)	諏訪市 (長野県諏訪市高島 1-22-30、TEL：0266-52-4141)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	903,100円 (うち支援金：722,000円)



事業内容

- (1)「移住者(UIJ ターン)受入連携企業」の参画
 - ・①【就業タイプ】と②【移住相談ステーション／諏訪市移住相談協力店】の計8企業(店舗)との連携
- (2)【公立諏訪東京理科大学×諏訪市】「地域課題とデザイン思考」ワークショップ
 - ・大学生と高校生等による5チームから「デザイン思考」による動画の表現方法をプレゼンテーション
- (3)「リケジョ(理系女子)雇用応援事業」と連携した若者ニーズ把握
- (4)諏訪市移住促進プロモーション動画及びパンフレット改訂版の概要
 - ・クロストーク版と移住動画ショートバージョン一部改訂版、パンフレット化による訴求



「地域課題とデザイン思考」ワークショップ
【目標・ねらい】

- ①「移住定住サポートサイト」の閲覧件数増
- ②YouTube 動画再生回数の増加
- ③高等教育機関との連携によるコンソーシアム体制構築

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・諏訪市移住定住サポートサイトの閲覧件数増が目標。
 - ⇒平成31年4月～令和2年2月までサイト閲覧回数9,292回(平成29年度実績：91,779回/年)
 - ※平成31年度、WEBサイトカウント方法変更有り
 - ⇒YouTube 動画再生回数10,000回(平成29年度実績：約2,000回/年)
- ・高等教育機関との連携「知の活用」により、地域の課題解決につながる体制を構築することができ、その他の“地域課題”に対して当該成果(プロセスノウハウ)を横展開することにより、更なる地域活性化が期待できる。

※自己評価【 B 】

【理由】
 「アウトドア×若者」という新たな視点を付加した訴求型のクロストーク版と、ショート版一部改訂という動画コンテンツの役割分担により、効果的な移住促進プロモーションが可能となる。
 また、「高等教育機関」との連携によりネットワークを形成することができたことは、次年度以降の持続的な展開が期待される。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「知のネットワーク」を活用した移住定住促進プロモーション事業には、以下3点のポイントを踏まえた事業展開が期待される。

- 『1.移住定住促進ニーズを常に意識した施策展開』『2. 高等教育機関(学生・生徒)との連携によるネットワーク化』『3.学生や生徒が自発的に汗をかいてくれる仕組み作り』

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある